

ツキノワグマによる事故防止のための留意事項

1 住民への注意喚起について

令和7年度は、4月から市街地や集落付近でのクマの目撃が相次いでおり、人の生活圏でも注意が必要です。特に夏は、山中でのクマの食べ物が少なくなることや、ヤブが茂ることなどから、クマが人の生活圏に現れやすくなり、年間を通じて最も目撃件数が多くなる時期となります。そのため、人の生活圏でもクマの存在を意識した行動を心がけていただくよう住民への注意喚起と、以下の対策を周知していただきますようお願いします。

① 人の生活圏での注意事項・対策

- ・散歩や農作業などの外出の際は、鈴など**音が出るものを携帯**する。
- ・家の周囲や農地周辺の**ヤブは刈払い**、見通しをよくする。
- ・車庫や物置の**扉は普段から閉めておく**。
- ・農作物、生ゴミや空き缶などの食品に関するゴミ、米ぬか、家畜飼料、機械油など、**クマが食べるものを屋外に放置しない・電気柵などで管理**する。
- ・市街地付近でクマを目撃したら、市町村もしくは警察に通報し、ツキノワグマ等情報マップシステム『クマダス』に投稿するなど、**地域で情報を共有**する。

② 山林での注意事項・対策

○入山禁止地域について

以下の地域では、危険性の高いクマによる人身被害が発生していることから、入山を禁止しています。このようなクマに限っては鈴やラジオ等の基本的な対策では事故が防げません。引き続き絶対に立ち入らないようお願いいたします。

- ・小坂町樹海ライン（県道2号）沿い～鹿角市十和田高原地区
 - ・鹿角市八幡平地区～仙北市玉川地区
- ※各地区の詳しい情報は以下の『2 美の国あきたネット「ツキノワグマ情報」』にも掲載しています

○入山禁止ではない地域について

上記以外の山林については基本的な対策が有効です。山は本来のクマのすみかですので、一人ひとりがクマとバッタリ会わないための対策を心がけましょう。

【山林での一般的なクマ対策】

- ✓ 鈴などでクマに聞こえる音を出し、人の存在をアピールしながら行動する
- ✓ 単独行動を避け、できるだけ複数で行動する
- ✓ ゴミは必ず持ち帰る
- ✓ 持ち物が奪われた、後をつけられたなど、積極的に人に接近するクマと遭遇した場合は、必ず市町村もしくは警察に通報し、情報を共有する

2 美の国あきたネット「ツキノワグマ情報」

秋田県公式ウェブサイトである美の国あきたネット「ツキノワグマ情報」には、ツキノワグマに関する情報や入山禁止地域の詳細、注意喚起用のチラシなどを掲載しています。

URL <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295>（コンテンツ番号 23295）